

# 基本的なHTML要素

- 見出し要素 (h1～h6)
- 段落要素 (p)
- リンク要素 (a)
- 画像要素 (img)
- インライン要素 (span)
- リスト要素 (ul, ol, li)
- テーブル

## 見出し要素 (h1～h6)

---

見出しを表す要素です。h1が最も大きく、h6が最も小さい見出しとなります。

```
<h1>大見出し</h1>
<h2>中見出し</h2>
<h3>小見出し</h3>
```

## 段落要素 (p)

---

テキストの段落を表す要素です。自動的に上下にマージンが付きます。

```
<p>これは段落のテキストです。</p>
```

## リンク要素 (a)

---

他のページやURLへのリンクを作成する要素です。

```
<a href="https://applii-wu.net/" target="_blank">AppLiiのHP</a>
```

- href: リンク先のURL
- target="\_blank": 新しいタブで開く

## 画像要素 (img)

---

画像を表示する要素です。

```

```

- `src` : 画像のURL
- `alt` : 代替テキスト（画像が表示できない場合やスクリーンリーダー用）
- `width` : 画像の幅
- `height` : 画像の高さ

## div要素

---

いくつかの要素をまとめて1つの要素と認識したいときに使います。

頑張ったら、divの中の要素を横並びにすることもできます。

```
<div>
  <要素1></要素1>
  <要素2></要素2>
</div>
```

## インライン要素（span）

---

テキストの一部をグループ化するためのインライン要素です。

```
<p>これは<span class="highlight">強調</span>されたテキストです。</p>
```

- `class` : CSSで使う用のクラス名

## リスト要素（ul, ol, li）

---

順序なしリスト、順序ありリスト、リスト項目を表す要素です。

```
<ul>
  <li>順序なしリスト項目1</li>
  <li>順序なしリスト項目2</li>
</ul>

<ol type="1">
  <li>順序ありリスト項目1</li>
  <li>順序ありリスト項目2</li>
</ol>
```

- `type` : リストの種類 (olの場合、1, a, A, i, Iなど)

## テーブル

---

```
<table>
  <thead>
    <tr>
      <th>見出し1</th>
      <th>見出し2</th>
    </tr>
  </thead>
  <tbody>
    <tr>
      <td>データ1</td>
      <td>データ2</td>
    </tr>
    <tr>
      <td>データ3</td>
      <td>データ4</td>
    </tr>
  </tbody>
</table>
```

## ほかにもできること!!

---

使いたいときに調べてみてください!

- Youtube / GoogleMap / Spotifyを埋め込む
- マウスをかざしたら色を変える
- 他のWebページを、自分のWebページに表示する